

森の散歩 どんな不思議に会えるかな

- 1 日 時：平成29年8月6日（日）
午前の部 11：00～12：00
午後の部 13：15～14：15
- 2 場 所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：30人（大人15、子ども15）
- 4 講 師：斎藤 寿子さん、伊藤勝幸さん（自然観察指導員の会）
- 5 主 催：福井県自然保護センター、福井県里山里海湖研究所
- 6 イベントのようす：



シナノキの種子はおもしろい飛び方だね。

夏休みらしい晴天の中、元気いっぱい子どもたちが集まりました。出発前に、講師の斎藤寿子さんから、山のなりたちについて、森を歩く際の注意点（蜂やマムシなどに気を付けること、ツタウルシに触らないことなど）についてのお話を聞きました。

最初は芝生広場でシナノキについて学びました。シナノキの種子はプロペラのようにくるくる回り遠くまで飛ぶことができます。種子はまだ実ってなかったので、色紙とクリップを使って同じ動きをする“紙の種子”をつくり、皆で飛ばしてみました。



森のクイズ。わかるかな？

いよいよ森の散歩のスタートです。斎藤さんは森のあちこちで、不思議な模様の穴があいた葉っぱの謎（虫食い）、オニヤンマの飛ぶスピードのクイズ（時速70km）、馬取池に生息するオオコオイムシの産卵（オスが背中に卵を背負う）など、たくさんの森の不思議について教えてくださいます。

タマゴダケやツチアケビの観察や、ヒメコウゾの葉を使った空気鉄砲体験もしました。

元気な子ども達は、自分たちでいろんな昆虫を見つけます。イトトンボ、バッタ、カミキリムシ、クワガタムシなど。昆虫に詳しい講師の伊藤勝幸さんが、生態や採集の方法などを詳しく教えてくださいました。



ヒメコウゾの葉の空気鉄砲！

とても暑い日でしたが、大人も子どもも、一緒に考えたりクイズに答えたりしながら、興味深く森の不思議を学ぶことができました。